

「OECD 加盟国の男女別自殺死亡率」の国際比較-対象:OECD 加盟国

アセット・マネジメント・コンサルティング株式会社 三竹道雄 (Mitake Michio)

https://x.com/amc_corporation

2025 年 07 月 29 日 10 時 11 分 13 秒 Japan Standard Time

総務省統計局が公表しております「世界の統計 2025」から OECD 各国における「男女別自殺死亡率 (人口 10 万人当たり)」の線形回帰モデルと基本統計量を確認します。

なお、国名横の括弧内の数値は年次を示しており、各国のデータ年次には相違があることに留意してください。

Figure 1, Table 1 から日本を除く OECD31 か国の間には決定係数を 0.538 とする

$$\text{女性の自殺死亡率} = 0.29 \times \text{男性の自殺死亡率} + 0.41$$

の線形関係があることを確認できます。但し、切片の p 値は 5% を超えていることに留意してください。

そこで Figure 1 のなかの日本を探しますと、回帰直線よりも上に外れていることが確認できます。

日本の男性の自殺死亡率は 22.1 人ですので、回帰モデルで日本の女性の自殺死亡率を予測しますと 7 人弱となりますが、実際の日本の女性の自殺死亡率は 10.5 人と男性の約 48%(10.5/22.1) ではあるのですが、同モデルによる予測値よりは 4 人弱多いこととなります。

さらに、Table 2 を見ますと、31 か国の自殺死亡率の平均は男性が 17.91 人、女性は 5.62 人ですので、日本の自殺死亡率は男女ともに平均を上回っていることが確認できます。

それでは、[原因・動機別自殺者数 \(女\)](#) で 2025 年 5 月の日本の女性の自殺の原因・動機を確認しますと、最多は「健康問題」で他の理由を大きく上回っていることが確認できます。

続いて、[原因・動機別自殺者数 \(男\)](#) を見ますと、原因・動機の最多は男性も女性と同じく「健康問題」であることが確認できます。

「健康問題」の詳細は不明なのですが「日本は年齢構成と比較して公的保険を充実させるための社会保障負担率が低すぎるのかも知れない」との仮説は立てられるのではないのでしょうか。

なお、自殺死亡率の最多は男女ともに韓国なのですが、韓国の男性の自殺死亡率は 31 か国平均の約 2 倍、女性は約 3 倍。Figure 1 で明らかなおと、韓国だけ自殺死亡率が突出していることを確認できます。

ソースデータ中の特記事項

- 自殺死亡率: 人口 10 万人当たりの自殺死亡者数。
- 自殺死亡者数には自傷行為及び自殺未遂を含む。

Figure1: 男女別自殺死亡率 (線形回帰直線は日本を除く)

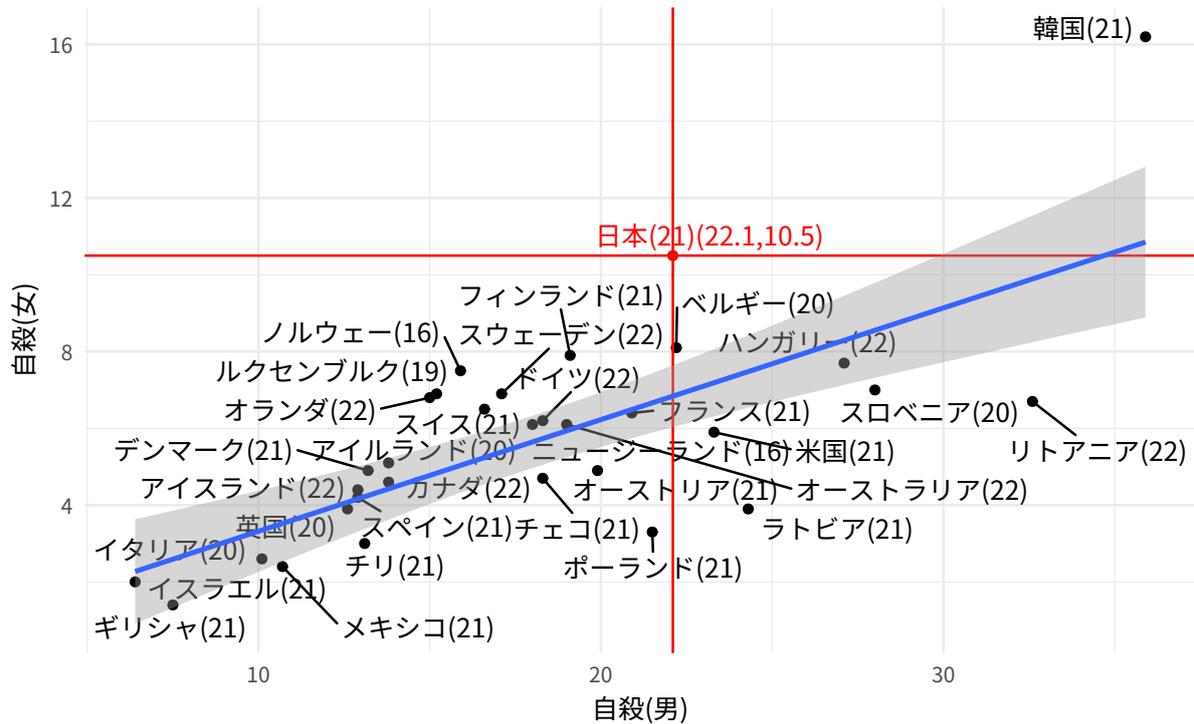


Table1: 男女別自殺死亡率の線形回帰モデル (日本を除く)

	Characteristic	N	Beta ¹	SE	95% CI	p-value
1	(Intercept)	31	0.41	0.956	-1.5, 2.4	0.7
2	自殺(男)	31	0.29***	0.050	0.19, 0.39	<0.001

¹*p<0.05; **p<0.01; ***p<0.001

Abbreviations: CI = Confidence Interval, SE = Standard Error

R² = 0.538

Table2: 男女別自殺死亡率の基本統計量 (日本を除く)

	指標	N	平均値	中央値	最高値	最高値の国	最低値	最低値の国
1	自殺(女)	31	5.62	5.9	16.2	韓国(21)	1.4	ギリシャ(21)
2	自殺(男)	31	17.91	17.1	35.9	韓国(21)	6.4	イスラエル(21)

- ソースデータに該当データの無い国: ポルトガル、スロバキア、エストニア、トルコ、コスタリカ、コロンビア